

カーボンリサイクル・先進的な火力発電技術等の海外展開推進事業

令和3年度予算額 6.8億円（7.4億円）

事業の内容

事業目的・概要

- 我が国は、相手国の発展段階に応じた政策形成に建設的に関与（エンゲージメント）し、世界の脱炭素化に責任を持って取り組むことが必要です。
- このため、相手国から要請がある場合、エネルギーアクセスの改善と気候変動対策の両立の観点から、相手国との協議を通じて相手国の脱炭素化に向けた行動変容を図ることを条件として、我が国の最先端技術を活用した環境性能が最高レベルの火力発電技術（最新鋭ガスタービン、トップレベルのUSC、混焼技術、IGCCや環境負荷低減技術等）の海外展開を図るとともに、カーボンリサイクル技術の国際的な普及のため、各国における導入のための環境整備の促進を図ります。
- こうした事業は、相手国関係者の招へい、人材育成、専門家派遣、技術交流、国際会議やセミナー等を通じて実施し、我が国技術の国際的な展開を目指します。

成果目標

- 平成29年から令和3年までの5年間を通じ、10件以上の先進的な火力発電・カーボンリサイクル等の技術を活用した案件の成立を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

（１）先進的な火力発電技術の展開

- 我が国の先進的な火力発電技術に関心を有する国に対し、相手国政府や電力事業関係者を招へい、もしくは、相手国でのセミナー、人材育成や専門家派遣等を通じ、脱炭素化に貢献するような先進的な技術の導入のための環境整備を行います。
- 特に近年、各国で環境基準が引き上げられたこと等により、既存火力発電所の効率化や環境対応などに対しても、我が国への期待が寄せられており、民間企業の事業展開を支援します。

（２）カーボンリサイクルの普及

- 化石燃料の利用に伴うCO2排出を大幅に低減していくために必要なカーボンリサイクルについて、事業関係者の招へいや技術交流事業等を通じて、我が国技術等の国際的な展開を目指します。
- また、カーボンリサイクル技術の国際的な普及のため、「カーボンリサイクル産学官国際会議」を始めとする会議・セミナー開催等を通じ、各国における技術の導入のための環境整備を図ります。



2019年9月
第1回カーボンリサイクル産学官国際会議



2020年2月 インドネシアでのセミナー
中央はエネルギー・鉱物資源大臣